

国内初の循環資源ビジネス専門誌

産廃

NEXT

2016
AUTUMN
秋

特集 食品リサイクル 本気のビジネス

《特別付録》

全国食品リサイクル事業者リスト

◎資料

木質バイオマス発電計画 全国MAP(最新版)

【好評連載】

産廃企業経営力! 変革へのチャレンジが会社を発展させる ○有岡義洋

アジア環境マーケット ○小島遼一

立田真文の言いたい放題 廃棄物未来予想図 ○立田真文

産廃NEXT 2016 AUTUMN (平成28年10月20日発行)

●発行所/日報ビジネス株式会社

●発行元/株式会社クリエイト日報 出版部

定価 本体1,451円+税

事例

小型メタンガス発電プラントを開発 地域循環システム構築へ

(株)ヴァイオス

一般廃棄物処理業等を展開する(株)ヴァイオス(和歌山市、吉村英樹社長、☎073-452-9356)は「小型メタンガス発電プラント」を開発し、本格販売に乗り出した。FITでメタン発酵による売電価格が1kW時当たり39円に設定され、ニーズが高まったことが決め手となった。海外向けも含め、3年間で約3億円の販売を目指す。

新プラントは、海上輸送用20フィートのコンテナ2基に、ガスホルダーと一体化させた発酵槽、給湯器、発電機、制御盤など全ての装置を収納したオンサイト型システム。コンテナで納品するため、取り付け工事は2日ほどで済み、コンパクトで中小の事業所にも対応できるのが強みだ。

設置後すぐに稼働できる点が災害時に強いとして、「ジャパン・レジリエンス・アワード(強靱化大賞)2016」の優良賞を受賞。さらに6月30日には、同システムが国際協力機構(JICA)の「中小企業海外展開支援事業~基礎調査~」に採択され、タイで

基礎調査を進めることも決まっている。

製品ラインアップは、中温発酵(適温37℃)と高温発酵(同55℃)の2タイプ。処理能力は中温タイプで1カ月当たり約15t、高温タイプで同45tとなっている。発酵槽の入ったコンテナを追加して、さらに処理能力をアップさせることも可能だ。価格は中温タイプで2200万円(税抜き)から。

まずは無償貸し出し 実際に使ってもらおう

同社は、2015年から中温タイプをグループ会社の農業生産法人ヨシムラファームに設置し、地域循環システムを構築している。原料には、同ファーム併設の食品工場から出た野菜くずや、和歌山県下で大量に発生している梅調味廃液などを活用し、処理困難物からメタンガスを回収するモデルを確立。さらに発酵の余剰熱は、ビニールハウスの加温や、食品加工の熱源に使用し、エネルギーの cascade 利用を実現させたいとする。また、副産物として出る消化液は、液肥としてニンニクやトマト等の栽培に活用し、化学肥料の大幅削減に成果を出している。

今後は、この事例をモデルとして国内外に同システムを広げる考えだ。同社の新事業推進課・研究開発課の村岡英樹財務マネジャーは、「まずは自治体に向けて同プラントを無償貸し出しするサービスを始める。実際に使ってもらおうことで良さを伝え、契約につなげていきたい」と意気込む。SNI



小型メタンガス発電プラント